

日本物理学会第 69 回年次大会 領域 10 インフォーマルミーティング
議事録 (案)

日時：2014 年 3 月 28 日 17:15～18:00

場所：東海大学湘南キャンパス 1 号館 会場名：AB

参加者：新井正敏 (J-PARC)、米永一郎 (東北大金研)、阿部浩二 (電気通信大)、
米田安宏 (JAEA)、池田直 (岡山大自然)、水野正隆 (阪大院工)、徳本有紀 (東
大生研)、斎藤晃 (名大エコトピア)、鈴木淳市 (CROSS) (順不同・敬称略)

議事：

新井代表が司会を務め、資料“領域 10 インフォーマルミーティング”を基に、
以下の事項について、報告や議論を行った。

(1) 領域正副代表、運営委員の交替

(2) 運営委員 (2014 年 10 月～2015 年 9 月期) の推薦

誘電体 森 龍也氏 (筑波大学 数理物質科学研究科物性・分子工学専攻)

格子欠陥・ナノ構造 君塚 肇氏 (阪大基礎工)

X 線・粒子線

中性子・ミュオン 幸田章弘氏 (KEK 物構研)

2014 年秋、学会に推薦する。

の 3 件が承認された。また、

X 線・粒子線

陽電子 調整中

を報告した。

後日 4 月 3 日、前川雅樹委員から、X 線・粒子線分科の ML に、陽電子
からの推薦候補者として

澁谷憲悟氏 (東京大学・大学院総合文化研究科・広域科学専攻・
相関基礎科学系)

の提案があった。

(3) 領域名に関する現状報告

“構造物性 (誘電体、格子欠陥、X 線・粒子線、フォノン)” を暫く使う。

(4) 若手奨励賞の要項改定に関する現状報告

- ・選考委員会と審査委員会の表現を、学会の要項等を参考に統一する。
→学会の若手奨励賞要綱等では、“委員”と繋げた熟語として“審査委員”が現れるが、その役目については、審査（選考）、選考と書かれていて統一がない。一方、論文賞には論文賞規定があり、“選考委員会”と明記されていることを確認。
- ・後日4月1日、米田安宏委員から、“誘電体分科では、若手奨励賞の細則に関する協議を2013年秋季大会のインフォーマルミーティングで既に行い、異論はなかった。”と報告があった。

(5) シンポジウム、招待講演等の提案

- ・2014年秋季大会に領域10から国際結晶学年（結晶学100周年）関連の特別講演を提案する。誘電体分科とX線・粒子線分科の合同開催として企画する。米田安宏委員が取りまとめを行う。
- ・JPS Conference Proceedings（日本物理学会で創刊の国際会議のプロシーディングス専用の雑誌）の利用が進んでいる。シンポジウムの開催に際して、利用を検討してみてもどうか。

(6) その他

- ・学会への要望
理事会の議事をメーリングリストへ配信する、Webサイトへ掲載するなどして、会員に知らせて欲しい。
- ・次期連絡委員（2014年4月～2015年3月）として、次期運営委員の小林亮氏が推薦された。
- ・領域10運営会議は、領域10内での課題を議論する場として有効であるので、今後も継続して欲しい。（新井代表）

以上